

太陽光発電の大量導入に向けて 電気自動車を電池として活用する技術

電池の適正充放電管理に基づく自然エネルギー発電共生型電気自動車エネルギーマネジメント・制御システム

【代表者】 九州工業大学 三谷 康範 教授

【共同研究者】 立命館大学 福井 正博 教授、徳島大学 北條 昌秀 准教授、九州工業大学 渡邊 政幸 准教授

(所属・職位は2013年3月時点のもの)

背景

- 自然エネルギー型分散電源の大量導入による不確定性の増大
- 一般ユーザー市場における電気自動車の本格的普及

研究対象

- 太陽光発電に連動した電気自動車充電制御ステーションの構築
- 簡易型太陽光発電・電気自動車連携自立エネルギーシステムの構築
- 電気自動車電池利用のための高機能電力変換回路の提案と構築
- 電池寿命評価モデルの構築と長寿命化のための運用方式の提案

